



道徳だより



能美市立寺井中学校

平成29年 6月6日(火)

NO. 2

◆5月の道徳をふり返って…

5月 心のテーマ：節度ある生活

6月に入り、1学期も折り返しとなりました。学校では部活動の「加賀地区大会」も近づき、どの学年も『文武両道』で頑張っています。さて、今回の道徳だよりでは、1年生と2年生の5月の道徳の実践の中から、その内容や感想などを紹介します。

◇1年生の实践



「2丁目の自動販売機」

A(1) 誠実な生き方

明君は友達の長野君から、自動販売機でうまくやると10円でジュースを取り出せるということを知ります。そのことを知って、悪いことと知りつつ明君はやってみようと思います。友達の誘いを受けて実行しようと思いますが、次第に良心がとがめて、気分が重く行動が鈍ります。この状況で自分ならどうするか、グループで話し合ってみました。

【生徒の感想】(一部抜粋)

- 友達に悪いこととかをすすめられても、友達が言ったからといってやったらダメだと思った。
- 万引きみたいなものだし、泥棒と同じだから、そういうことはやらない方がいいと思った。
- 私がこの立場だったら買わなかったと思います。自分には自分のやったことがわかっているので、うしろめたい気持ちになってしまうからです。
- ダメなことだと分かっているのにやってしまうのは、いいことではないと思います。今日の学習では、ダメなことはやっぱりやってはダメだということを改めて分かりました。
- 犯罪につながる行動はしたらダメだと改めて分かった。これからは一時的な考えで、そういう行動はしないようにしたい。
- 自分がこんなことをしてしまったら、もしみつかったら、親にも迷惑をかけてしまうので、絶対にやらない。
- 犯罪は悪いことだと改めて知ることができた。もし見たら注意していきたい。
- 明と長野君はすごく仲が良いけれど、やっぱり判断は大切だなと思いました。
- しっかりと断れるようにしたいし、断る勇気を大切にしたい。
- 私はそんなずるい方法で手に入れたジュースはほしくないし、飲みたくない。そんな(ダメだと分かっている方法で買った)ジュースを飲むよりも、正しい方法できちんとお金を払ったジュースの方がいいと思いました。
- 見つからなければ何でもやっていいからとは思わないで、その先のことを考えて行動できるようになりたいです。誘惑に負けず、自分のことだけではなく相手や周りの人のことも考えたい。

→ 裏面へ続く

